

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔菓子〕	販売量の動き	・沖縄県内への観光入域者が順調に推移しているため、販売量も若干前年に対して伸びている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夕方の時間帯の来客数が増加している。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・まだ需要が十分にある。販売単価を少し下げただけで、それ以上の売上効果が見込める。
		住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・前月同様、商談が契約を前提とした内容が多く、契約は前年同月比20%増である。
	変わらない	スーパー（販売企画担当）	単価の動き	・今月も1品単価のアップにより売上は前年プラスとなっており、景気は良いと考えている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年より、大学の卒業パーティーが多くなり、来客数が増加している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・ブランド変更による一時閉鎖や完全閉鎖により、客数は減っているが、客単価は前年比プラス1%で推移している。店舗の増減で商圏に変化が起きてはいるが、購買意欲は変わらずのままである。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率において、3か月前と同様に、前年同月実績を若干下回っている状況である。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・売上は前年を上回るが単価の高い商品が売れただけで販売量としては下回っている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・商品の売上は少し落ちている。求人採用には応募がこない。
		住宅販売会社（代表取締役）	それ以外	・町や県発注の公共工事と、民間賃貸アパート、戸建住宅や住宅防音工事などバランスの取れた工事受注となっている。
	やや悪く なっている	百貨店（営業部）	販売量の動き	・寒暖の差がまだまだ大きいこともあり、衣料品の動きが引き続き厳しい状況である。それを服飾雑貨や食料品、さらにインバウンド売上にカバーしている。店全体では、辛うじて前年実績をクリアできた。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・年度末と新年度スタートが重なり世間の皆さんは忙しそうである。今月から良くなるとみている。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・免税需要売上の伸びが止まっている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・今月は繁忙期にあたるが、売上全体としては前年並みである。平日の客足は乏しく、週末に集中しているが、単価は低い。地元客による宴会の数は横ばいであり、下がった分を観光客でカバーしている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・バス料金の値上げのため、国内客の募集ツアーが悪い。個人旅行と海外インバウンドは好調である。
その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）		来客数の動き	・国内観光客の予約状況があまり良くない。	
悪く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・商店街に外国人観光客が多少いるが、単価の低下が感じられるそうである。地元客に関しては減少しており、更に単価的にも落ちているようで、大変危惧している。	
企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新築の契約金額が高単価になっている。また、仮契約や申込件数が増加している。
		輸送業（営業）	それ以外	・客より新規の問い合わせが多いが、物流業界全般で人員不足の声が多く、新規での拡大がなかなかできない状況が続いている。また、既存の客の業務をこなすことにも四苦八苦しているところが多い。
	やや悪く なっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事向け出荷は共に前年比で減少している。
	悪く なっている			
雇用 関連	良く なっている	求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・3月の週平均件数は1,157件だった。2015年12月の週平均件数の909件と比較すると248件増加した。また、1,206件と過去最高を記録した週もあった。

(沖縄)	やや良くなっている			
	変わらない	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・前月に引き続き求職者の登録数は横ばいで、前年度比では減少している。対照的に企業からの求人は多く、観光関連を中心に人手不足との問い合わせが多い。
	やや悪くなっている	学校[専門学校] (就職担当)	周辺企業の様子	・3月1日新卒採用活動が解禁になり、方々で合同企業説明会が開催されている。初日は参加者の数も多かったが、数週間後に開催された地元の中小企業主催の合同企業説明会は参加者が激減していた。若い人材の流出は地元の損失に直結すると考えられる。
悪くなっている	-	-	-	-